

立川基地跡地内の公園・緑道計画概要説明会の要旨記録

日 時	場 所	主 催 者	参加者
5月22日(水) 19:00～	富士見会館	昭 島 市 独立行政法人都市再生機構 法 務 省	46人

【日程】

- 1 開会・挨拶
- 2 公園・緑道の計画概要について
- 3 質疑
- 4 閉会

【主な意見・質問】

(意見)

- ・自然を生かした公園にしてほしい。
- ・公園は、様々な人を対象としているとのことだが、対象に対して中途半端な造りだと思う。
- ・緑道のせせらぎの水は通年流水できるように検討してほしい。
- ・可能な住民意見については吸い上げてほしい。
- ・自転車の乗り方等、利用者のモラルが大事。

(質問)

公園

- ・歩行空間は、どのような舗装か。
→メイン動線、サブ動線は、自転車や管理車両の通行を勘案してアスファルト系の舗装、歩行者動線は土系の舗装を予定。
- ・柴崎分水は、鳥の水飲み場にもなるような設えにならないか。
→本計画で、鳥が水飲み出来るか否かは分からないが、下流で立川市の方が農業用水として利用していることや安全性等を踏まえ、立川市とも協議のうえ検討したものである。
- ・バスベイはつくれないのか。
→公園を削って道路とすることには、困難性がある。ただし、バス停付近を公園の入口の1つとすることによって、バス利用者が安全に利用できるよう、また、ベンチに座ってバスを待つことが出来るようにしている。

- ・井戸が1箇所あるが、災害時対応の水の確保は十分なのか。
→公園内の井戸は、公園隣接地に整備予定の配水場の水源井となる。配水場の水は、震災時には、この地域のためだけでなく、市域全体に対して、給水車や水のバック等により配布する。
- ・ベンチが少ない。
→一定のベンチの他、芝生広場等では、芝生に座ることができる。

緑道・広場

- ・植物の移植は。
→現地を確認し、出来る範囲で検討する。
- ・せせらぎの水はどのような水か。
→水は循環して流す。夏を中心として水を流す。水を流さない時期についても、衛生面等で問題がないよう出来る限りの対応を行う。
- ・樹木がないところの種子吹付けは、どのようなものか。
→冬でも枯れない洋芝系の種を中心とした3種を混合したもの。
- ・外灯は。
→道路の街路灯や植樹の状況等を勘案しながら、約25mピッチで設ける予定。
- ・サークルベンチは道路近くではないほうがよいのでは。
→道路から2～3m程度離す配慮をしている。

その他

- ・歩道は自転車が通行するのか。
→自転車は車道を走らせるのが、現在の警察の考え方である。
- ・サルスベリは下から枝が出てくるため、富士見通りの新設歩道内の樹木はサルスベリ以外のものにしてほしい。